

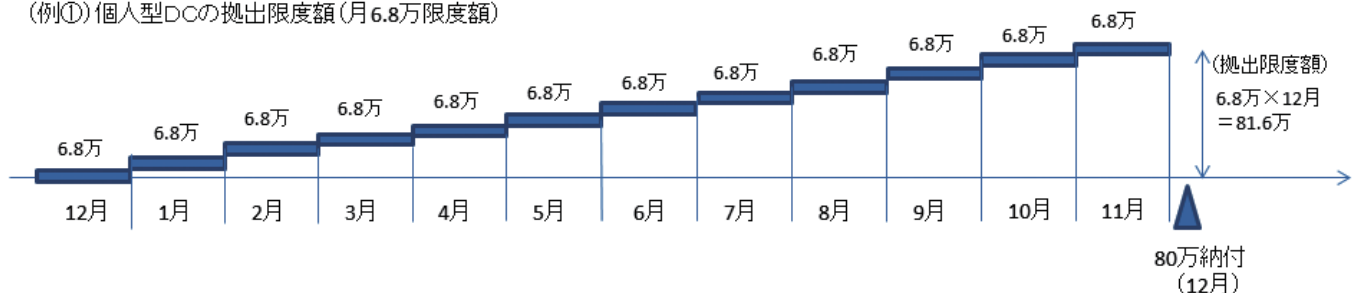
Topics | トピックス

◆ 確定拠出年金制度 1月から掛金が年単位に

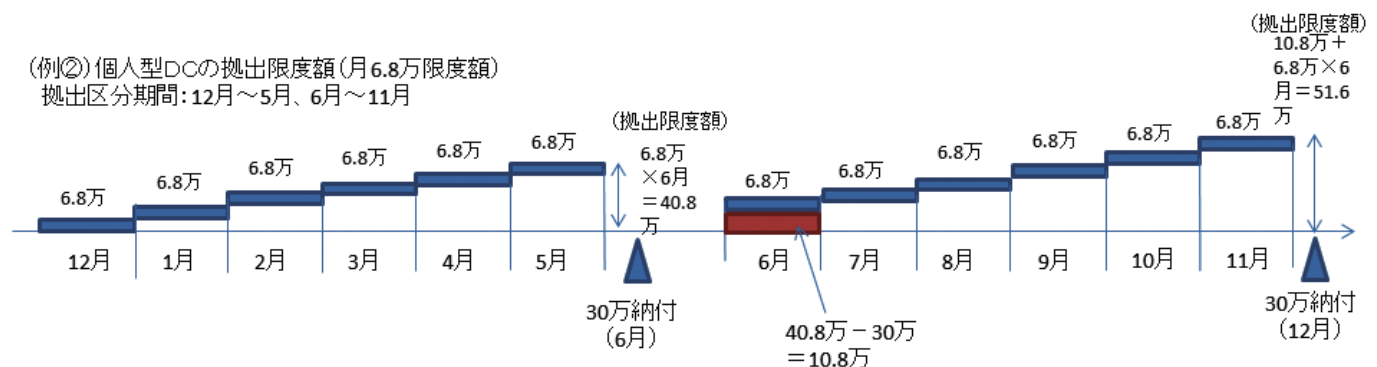
確定拠出年金の掛金はこれまで月単位で拠出されていたが、平成30年1月1日より、12月～翌年11月の12カ月間の範囲で複数月をまとめて拠出、または1年分まとめて拠出することが可能となる。なお、納付は1月～12月の範囲で行う。拠出方法の例については図1のとおり。

■ 図1 DCの掛金の拠出規制単位の年単位化後における拠出方法の例

(例①) 個人型DCの拠出限度額(月6.8万限度額)



(例②) 個人型DCの拠出限度額(月6.8万限度額)
拠出区分期間: 12月～5月、6月～11月



◆ 「公的年金等の受給者の扶養親族等申告書」の提出について

「公的年金等の受給者の扶養親族等申告書」は、日本年金機構より平成29年8月から平成30年分が送付された。提出期限は記載されている期限内であり、期限を過ぎて提出された場合、平成30年2月の支払に申告内容を反映させることが不可能となる。そのため、一時的に控除なしに公的年金の源泉徴収額が計算されることがある。

提出期限を過ぎていても登録処理後には2月支払分まで遡って再計算が行われるが、できるだけ早めに提出することが望ましい。

なお、平成30年分送付時に、平成29年分の「扶養親族等申告書」にかかる扶養親族の個人番号を提出するために「個人番号申出書(平成29年分扶養親族等について)」も同時に発送済みで、「扶養親族等申告書」とあわせて提出することが求められている。

◆ 11月30日は年金の日

厚生労働省では、「国民一人ひとり」「ねんきんネット」等を活用しながら、高齢期の生活設計に思いを巡らす日として、平成26年度から毎年11月30日(いいみらい)を「年金の日」としてきた。毎年、この趣旨に賛同する各団体等と協働で取り組み、「ねんきんネット」等を利用して年金記録や年金受給見込額を確認していただくこと、高齢期に備え、その生活設計に思いを巡らしていただくことを呼びかけている。平成29年の賛同団体等は全部で28団体等あり、年金相談会等において、「年金の日」や「ねんきんネット」の周知を実施する予定となっている。また、日本年金機構においては出張相談や年金セミナーを実施することとなっており、公的年金制度の普及・啓発活動を展開する。

◆ 平成29年8月末現在国民年金保険料の納付率は現年度分で59.3%

厚生労働省は平成29年10月27日、平成29年8月末現在の国民年金保険料の納付率を公表した。

【平成27年度分(過年度2年目)の納付率】

平成27年度末からプラス8.0ポイントの71.4%であった。これは平成27年4月～平成28年3月分の保険料のうち、平成29年8月末までに納付された月数の割合である。平成29年度末時点の目標は、平成27年度末からプラス7.0ポイントであったため、目標値に達している。

【平成28年度分(過年度1年目)の納付率】

平成28年度末からプラス2.9ポイントの67.9%であった。これは平成28年4月～平成29年3月分の保険料のうち、平成29年8月末までに納付された月数の割合である。平成29年度末時点の目標は、平成28年度末からプラス4.0ポイントであったため、目標値には達成していない。

【平成29年8月分(現年度分)の納付率】

対前年同期比プラス1.6ポイントの59.3%であった。平成29年度末時点の目標は、前年度実績からプラス1.0ポイントであった。

なお、平成29年4月～平成29年8月分の強制徴収の実施状況は、最終催告状送付が50,727件(前年同期比12,931件増)、督促状送付が9,456件(前年同期比486件増)、財産差押が3,882件(前年同期比1,439件減)であった。

■図2 年金の日ポスター

いいみらい
11月30日は
年金の日

「年金の日」に、
「ねんきんネット」を使って
高齢期の生活設計について
考えてみませんか！

「ねんきんネット」では、
これまでの年金記録、
これからの年金受給見込額
を簡単に確認できます。

ねんきん太郎
「ねんきんネット」マスコット

詳しくは「ねんきんネット」で検索

ねんきんネット 検索
http://www.nenkin.go.jp/n_net/

スマートフォンでアクセス

電話でのお問い合わせは、こちらへ
ねんきん定期便・ねんきんネット等専用ダイヤル
0570-058-555
050から始まる電話で
おかけになる場合は
03-6700-1144

受付時間
月～金曜日：午前9時～午後7時 / 第2土曜日：午前9時～午後5時
※祝日(第2土曜日は除く)、12月29日～1月3日はご利用いただけません

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

日本年金機構
Japan Pension Service